

## 事業計画書

1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所  
2013年度 第1回通常総会並びに新年会(1月例会)  
担当委員会：総務広報委員会 委員長：甲地 洋商

### 2 事業要項 事業背景

創立50周年を迎える三沢青年会議所の新たなスタートに際し、通常総会において2012年度の事業報告並びに収支決算の承認を頂く必要があります。新年会では2013年度の理事長・役員・出向者の紹介、また本年度の方向性や事業をアピールする場が必要であり、そのためには、100%出席例会という形で、その思いを発信する必要があります。

#### 目的

対外：2013年度 創立50周年の節目に立つ三沢青年会議所の役員のお披露目をおこない本年度の方向性を示し、多くの方からご理解とご協力を得られるよう努めます。また、日頃お世話になっているシニア会員・ご来賓並びに来訪JCと親睦を深め、三沢青年会議所メンバーとの繋がりを一層強固なものにする事を目的と致します。

対内：定時総会にて2012年度の事業報告並びに収支決算書の承認を頂きます。新年会では、2013年度理事長を筆頭とした新体制でご来賓並びに来訪JC、シニア会員をおもてなしの心でお迎えし親睦を深めることがで、更には、メンバー一人ひとりが積極的に三沢青年会議所運動をアピールすることを目的とします。

### 3 事業概要

実施期間	1月24日(木) 予定	事業予算額	¥113,382
実施場所	きざん三沢(予定)		

#### 参加員数計画

会員 29名 特別会員 24名 ご来賓 60名 来訪JC 40名

#### 事業内容

第1回通常総会 受付 16時00分 通常総会 16時30分  
・プレジデンシャルリース伝達・新旧理事長バッジ交換  
・第1号議案 社団法人三沢青年会議所2012年度事業報告書承認の件  
・第2号議案 社団法人三沢青年会議所2012年度収支決算書承認の件  
・第3号議案 公益社団法人三沢青年会議所2012年度事業報告書承認の件  
・第4号議案 公益社団法人三沢青年会議所2012年度収支決算書承認の件  
・第5号議案 その他

新年会 受付 18時00分 新年会 18時30分  
・オープニングアトラクション クレールウィンドオーケストラ  
・開会・理事長挨拶・来賓紹介・来賓祝辞・鏡開き・乾杯  
・2013年度役員紹介

#### 総括【専務理事】

総合進行・責任者【総務広報委員会】

通常総会・新年会受付補佐【青少年育成委員会】

通常総会記録係【まちづくり委員会】

新年会記録係【拡大交流委員会】

全メンバーにてご来賓・特別会員・来訪JCの接待

## 事業計画書

1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所 2013年度  
第2回通常総会及び7月例会  
担当委員会：総務広報委員会 委員長：甲地 洋商

### 2 事業要項 事業背景

公益社団法人三沢青年会議所は、一年間でさまざまな事業展開をおこなっております。しかしながら、日々の運動の中で改めてこれまでの活動を振り返ることが中々出来ません。通常総会の場合において上半期の活動内容を振り返り、良き部分は下半期へ繋げ反省点は下半期の課題としてメンバー全員が認識しなければなりません。そして、次年度理事長並びに次年度監事を選出し次年度に向けた体制も整えなくてはならず、7月という折り返し地点での通常総会の場合が必要であると考えます。

#### 目的

対外：2014年度役員改選立会人として選挙を見守っていただく事を目的とします。

対内：上半期の事業報告を通じ、三沢青年会議所の上半期の活動の見直しと、下半期の活動指針を確認いたします。また、役員改選をおこない、次年度理事長並びに次年度監事を選出し、新たなスタートへ向けての準備態勢に入る場でもあります。更に、懇親会においては、メンバー間の交流も深まり下半期の活動に向けて更なる団結力強化を図ることを目的といたします。

### 3 事業概要

実施期間	7月 予定	事業予算額	¥0
実施場所	きざん三沢(予定)		

#### 参加員数計画

会員 29名 特別会員 10名

#### 事業内容

##### 第2回通常総会

- ・第1号議案 一般会計補正予算(案)の件
- ・第2号議案 2014年度役員改選の件
- ・第3号議案 その他

##### 次年度理事長立候補者の募集

- ・定款・諸規定に沿って公示

##### 次年度理事長・監事投票並びに開票

- ・投票立会人3名依頼(シニアクラブ会員へ事前に依頼する)
- ・理事長立候補者より、意見書の発表をして頂く
- ・メンバーを4名ずつ投票所へと誘導し、立会人より理事長投票用紙 監事投票用紙を受け取り記入後投票箱へと投函する。

##### 懇親会

- ・次年度理事長予定者より、決意表明と抱負を述べてもらう

## 事業計画書

- 1 事業名称 広報誌やませ（第33回三沢国際サマーフェスティバル）発行  
担当委員会：総務広報委員会 委員長：甲地 洋商

### 2 事業要項 事業背景

我々三沢青年会議所は、三沢市のさらなる発展を目指しながら、多くの人々から理解を得られようと様々な事業等を展開しております。しかしながら、未だ地域の皆様のなかに我々の活動は認知されていないと感じております。今まで以上に多くの地域の皆様から認知して頂くため、また、我々の活動が地域にとって必要であると感じて頂くためにも三沢青年会議所の活動内容やその存在意義を広報誌を活用し、広く発信する必要があると考えます。

#### 目的

対外：第33回三沢国際サマーフェスティバルの内容や三沢青年会議所の活動内容など我々の思いを周知して頂けるツールであり一人でも多くの地域民に活動のご理解を頂く。また、会議所運動の魅力を知って頂くことにより会員増強に繋がる事を目的とします。

対内：三沢市内やおいらせ町の一部に広く配布することにより、頂いた反響を各メンバーが今後のJC運動に繋げ三沢青年会議所全体のレベルアップを目的と致します。

### 3 事業概要

実施期間	8月22日(木) 予定	事業予算額	¥160,000
実施場所	三沢市内全域及びおいらせ町の一部地域		

#### 参加員数計画

なし

#### 事業内容

##### 広報誌やませ（案）作成

- 発行時期 平成25年8月22日（木）（予定）

##### 発行部数

- 15,000枚（B4カラー両面印刷）（予定）
- 三沢国際サマーフェスティバルPR（23日～25日の3事業）
- 三沢JCの活動PR 次年度理事長予定者挨拶 協賛企業広告
- 会員募集告知 その他

##### 新聞への折り込み

- 読売新聞、朝日新聞、東奥日報、デーリー東北の4社

##### 発行者

- 公益社団法人 三沢青年会議所

## 事業計画書

- 1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所 2013年度 第3回通常総会  
担当委員会：総務広報委員会 委員長：甲地 洋商

### 2 事業要項 事業背景

7月におこなわれる第2回通常総会において次年度理事長、次年度監事が選出され本年度と並行して次年度新体制が動き出します。次年度の方向性をメンバー全員が共有する上でスタートを切らなければなりません。そのために、次年度の各事業の計画や予算、並びに全体の動きをメンバー全員に承認して頂き次年度理事長の下、一致団結しなければなりません。

#### 目的

対外：なし

対内：次年度がスタートがする上で役員改選がおこなわれ、組織図（案）、出向者（案）、事業計画書（案）、事業収支予算書、一般会計予算書（案）を承認し、メンバー全員が連帯感を持った上で次年度新体制のスタート準備に入ることを目的と致します。

### 3 事業概要

実施期間	12月 予定	事業予算額	¥0
実施場所	きざん三沢（予定）		

#### 参加員数計画

会員 29名

#### 事業内容

##### 第3回通常総会

- 第1号議案：2014年度役員（案）並びに組織図（案）承認の件
- 第2号議案：2014年度出向者（案）並びに実行委員長（案）承認の件
- 第3号議案：2014事業計画書（案）並びに事業収支予算書（案）承認の件
- 第4号議案：2014年度一般会計予算書（案）承認の件
- 第5号議案：その他

# 事業計画書

- 1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所  
2013年度卒業式・忘年会・ロム褒賞授与式(12月例会)  
担当委員会：総務広報委員会 委員長：甲地 洋商

- 2 事業要項  
事業背景

三沢青年会議所に貢献してきた卒業生の労をねぎらい、これまでの功績を讃え感謝の意を表し、お見送りいたします。そして、一年間の締めくくりとして、今年おこなってきた事業を振り返り、ロム褒賞として最優秀委員会賞、最優秀会員賞、最優秀新人会員賞の表彰をおこない会員の意識向上へ繋げなくてはなりません。また、三沢青年会議所運動に対し、多大なるご支援とご協力を頂いているシニアクラブ会員の皆様へ一年間の感謝の気持ちを伝える場が必要となります。

## 目的

対外：卒業生が行ってきた運動の功績を讃えると共に卒業生のご家族にこれまでのご理解とご協力に感謝することを目的と致します。またシニアクラブ会員の皆様へ三沢青年会議所活動に対し、ご支援ご協力を頂いていることに対する感謝の気持ちを伝え、交流を図る事を目的といたします。

## 対内：

【卒業式】卒業生より会議所運動の中で学んだ事や現役会員に激励のメッセージを伝えて頂くことで今後の青年会議所運動の励みになることを目的と致します。

【忘年会】会員一人ひとりが一年間を振り返りそれぞれの労をねぎらい、また新たな目標を持って次年度を迎えるための懇親の場を目的と致します。

【ロム褒賞】一年間の委員会事業、会員の運動を表彰し功績を讃え次年度の会員の意識向上へ繋がる事を目的と致します。

- 3 事業概要

実施期間	12月予定 予定	事業予算額	¥109,120
実施場所	三沢市内全域及びおいらせ町の一部地域		

## 参加員数計画

会員 29名 特別会員 20名 来訪JC 30名  
卒業生 4名 卒業生家族 5名

## 事業内容

### 卒業式

- ・卒業予定者
- ・稲川 大輔 ・北向 栄作 ・木村 雅幸 ・山本 高久

### ロム褒賞

- ・最優秀委員会賞、最優秀会員賞、最優秀新人会員賞の発表と表彰

## 事業計画書

1 事業名称 第18回三沢・沖縄児童交歓事業（迎え入れ）（2月例会）

担当委員会：青少年育成委員会

委員長：蛭名 満

### 2 事業要項

#### 事業背景

1978年より「国内でも気候、風土、生活環境の著しく異なる地域である三沢市の児童と沖縄市の児童が、互いに見聞を深め、友好を結び、健やかに育ちいくための糧になること」を目的として児童交歓事業調印式が行われ、それから36年間という長い歴史を刻んだ本継続事業も第18回目を迎えるまでとなり、参加児童は、三沢・沖縄を合わせ650名を超え、青少年育成活動に大いに貢献してきた継続事業であると考えます。

#### 目的

対外：寒冷な気候の青森県三沢市と、温暖な気候である沖縄県沖縄市に生活する人々の歴史・風土・生活環境、習慣の違いを肌で触れ肌で感じ、友情を育み人に感謝する心を学ぶことを目的とする。

対内：三沢・沖縄児童交歓という歴史ある本事業を通じ、三沢青年会議所メンバー間の団結力を高めるとともに、姉妹JCである沖縄青年会議所との繋がりを深め、今後の青少年育成運動に繋がる事業にすることを目的とする。

### 3 事業概要

実施期間	1月31日～2月4日	事業予算額	¥777,000
実施場所	三沢市内及び青森県内		

#### 参加員数計画

会員 29名 沖縄青年会議所会員 10名 三沢・沖縄児童 28名  
児童保護者 28名 シニアクラブ会員 15名 教育関係者 5名

#### 事業内容

オリエンテーション  
・全4回（予定）  
三沢・沖縄児童交歓事業  
・沖縄児童に三沢の文化・生活習慣の違いを体験してもらう  
・ホームスティの体験及び団体行動

## 事業計画書

1 事業名称 むがしのわらすっこ体験～じっちゃ・ぱっちゃから学ぶ衣食遊～  
（10月例会）

担当委員会：青少年育成委員会

委員長：蛭名 満

### 2 事業要項

#### 事業背景

昨今、子供たちを取り巻く社会問題のとして挙げられているのが、子供たちを育成する立場にある大人たちの地域社会における孤立、いわゆる地域コミュニティの減少であるといわれております。地域の未来を担う子供たちが普段の生活や学校では感じられない、昔ながらの伝統・文化・生活を経験することにより、子供たちのコミュニケーション能力が形成されるものと考えます。

#### 目的

対外：子供たちが普段の生活や学校では感じられない、昔ながらの伝統・文化・生活を先人たちから学び、交流することによって、コミュニケーション能力が形成され、未来の地域コミュニティ問題解決への一助となる事を目的とします。

対内：我々メンバーは、本事業の準備や運営、参加者のサポートなどを通じ、ボランティア活動並びに社会奉仕の重要性を再認識し、今後のJC運動の糧にして頂くことを目的とします。

### 3 事業概要

実施期間	10月 予定	事業予算額	¥52,983
実施場所	三沢市内（谷地頭団体活動センター及びその周辺）		

#### 参加員数計画

会員 29名 三沢市内小学生 25名 JAおいらせ職員 2名  
シルバー人材センター 10名

#### 事業内容

収穫体験  
・7月に委員会事業にて種植え体験を行った畑の収穫体験  
昼食準備  
・外に窯を設置し火をおこしてご飯を炊く  
・収穫した野菜を使用して、味噌汁などをつくる  
昔遊び体験  
・竹馬、お手玉など  
・講師の方と一緒にしめ縄制作

# 事業計画書

- 1 事業名称 むがしのわらすっこ体験～じっちゃ・ばっちゃんから学ぶ衣食遊～  
(委員会事業7月)  
担当委員会：青少年育成委員会 委員長：蛭名 満

- 2 事業要項  
事業背景

10月例会を実施するにあたり、参加する子供たちに収穫だけの体験ではなく、種から育て口にするまでの一連の過程を体験し、食のありがたさを感じる事により食育学習の一助となり、また10月例会の参加者と共に種植え体験を実施する事で、より親密な人間関係が構築され、さらなる子供たちのコミュニケーション能力の向上が図られるものと考えます。

## 目的

対外：収穫だけの体験ではなく、種から育て口にするまでの過程を体験し、食のありがたさを感じる事で食育学習の一助となる事を目的とします。また、10月例会の参加者と共に本事業を実施する事により、さらなる子供たちのコミュニケーション能力の向上が図られる事を目的と致します。

対内：我々メンバーは、地域民の一人として子供たちと共に参加し、自らのコミュニケーション能力の向上と共に、参加者のサポートなどを通じ、社会奉仕の重要性を再認識し、今後のJC運動の糧にして頂くことを目的とします。

- 3 事業概要

実施期間	7月 予定	事業予算額	¥22,925
実施場所	三沢市谷地頭団体活動センター近く借用畑		

## 参加員数計画

会員 29名 三沢市内小学生 25名 JAおいらせ職員 2名  
シルバー人材センター 10名

## 事業内容

### 児童募集

- ・三沢市内各小学校、児童館への参加協力依頼
- ・三沢市広報に記載依頼
- ・三沢市ケーブルテレビ(MACTV)に文字放送依頼

### 種植え体験

- ・三沢市児童と共にJAおいらせ職員指導の下、10月例会にて収穫する野菜の種植え

## 事業計画書

- 1 事業名称 第33回三沢国際サマーフェスティバル開催(案)について  
(8月例会)  
担当委員会: まちづくり委員会 委員長: 渡辺 卓也

2 事業要項  
事業背景

三沢市の中心市街地は都市開発のもと移転や建て直しによりまちの雰囲気も大きく変化しましたが、不景気や震災の影響により未だ経済は苦しい状況にあり、それを拂拭し笑顔あふれる元気なまちを取り戻す為に、他団体と協力しさらに三沢まつりを盛り上げるにより、三沢の経済の発展に貢献していかなければならない。

目的

対外: 三沢ならではの国際色をアピールしつつ、市民のパフォーマンスの場を創出することで文化と観光及び産業の復興に寄与する。

対内: 他団体とのネットワークを密にすることで明るい豊かな社会を築くため協和し、会議所活動の意識を向上させ次年度へ繋げる。

3 事業概要

実施期間	8月22日(木)~8月25日(日)	事業予算額	¥1,807,420
実施場所	アーケード商店街(広瀬G.S前)~基地ゲート前、及びアメリカ広場		

参加員数計画

会員 29名 一般 500名(参加者)

事業内容

- ・三沢まつり前夜祭全体会議より4日間を通して、関係諸団体と共にアメリカ広場の運営
- ・中日の神輿パレード及びアメリカ広場での審査・グランドフィナーレまで運営進行
- ・参加団体の募集及び説明会の開催。合わせて関係諸団体との打ち合わせ
- ・アメリカ広場特設ステージの運営

## 事業計画書

- 1 事業名称 Oh!Mikoshi! 国境を越えた「友情の神輿」づくり体験  
~ 国際色豊かなまち、三沢の未来に向けて~ (6月例会)  
担当委員会: まちづくり委員会 委員長: 渡辺 卓也

2 事業要項  
事業背景

これから三沢祭りが近隣市町村のお祭りのように、独自の特色を出していくためにはやはり、当市の特徴である国際色豊かで日米が友好的に交流を交わしている部分をアピールしていきたいと考えます。その為に我々が8月に行なっている全体事業「三沢国際サマーフェスティバル」への参加を足がかりとし、お互いの文化の理解・交流を深め、三沢ならではのまちづくりの一助としたい。

目的

対外: 三沢ならではの国際色をアピールしつつ、市民のパフォーマンスの場を創出することで文化と観光及び産業の復興に寄与する。

今まで参加していなかった人たちや、山車の無い町内会に属する子供たちを新たに巻き込み、サマーフェスティバルの認知度及び集客を高める。

祭り中日のメインであるパレードに米軍関係者の参加を増やし日米交流の足がかりを作る。

米軍関係者の方々や、山車の無い町内に住む子供たちにも神輿の作り方を覚えていただき、将来自発的に参加していただけるよう足掛かりとする。

対内: 他団体とのネットワークを密にすることで明るい豊かな社会を築くため協和し、会議所活動の意識を向上させ次年度へ繋げる。

神輿づくりから携わることにより、過去より長く続いているサマーフェスティバルをより深く認識し、次年度への発展へ繋げる。

市民への青年会議所のアピールの場となると共に、地元経済人にも参加していただき会員拡大につなげる。

3 事業概要

実施期間	6月 予定	事業予算額	¥76,161
実施場所	三沢市内		

参加員数計画

会員 29名 一般参加者 30名(三沢市民・米国人) 講師 1名

事業内容

- ・日米共同でひとつの神輿を作るにより、新たな理解と交流を図る
- ・日本の文化をアメリカ人の方々にも理解していただくと共に、日本人の方々にも再認識していただく
- ・三沢ならではの国際色をアピールでき、文化と観光及び産業の復興に寄与する
- ・サマーフェスティバルに参加したという愛着と誇りを持っていただき、より一層三沢市を好きになっていただく
- ・各関係諸団体との連携を密に取るにより、新たな信頼関係を図る
- ・サマーフェスティバルへの継続的な参加の一助とする
- ・市民への青年会議所のアピールの場となると共に、地元経済人にも参加していただき会員拡大に繋げる

# 事業計画書

1 事業名称 第33回三沢国際サマーフェスティバル(8月例会)  
における収益事業

担当委員会：まちづくり委員会

委員長：渡辺 卓也

2 事業要項

事業背景

三沢国際サマーフェスティバル(公益事業)を継続的していく為にも、これに対する収益事業を実施する必要がある。

目的

対外：なし

対内：販売を通し、お客様とのコミュニケーションを図ることで、三沢青年会議所の運動を広くアピールする。

収益事業を実施することで、三沢国際サマーフェスティバル(公益事業)の収入基盤を強化する。

3 事業概要

実施期間	8月23日(金)～8月25日(日)	事業予算額	¥100,000
実施場所	アメリカ広場(予定)		

参加員数計画

会員 29名

事業内容

2012年度と同様にサマフェス会場にて、ドリンクブース(JC)を設ける。

酒類、ジュース等

売上目標は、¥200,000とする。(2012年度参考：¥196,500)

## 事業計画書

- 1 事業名称 第22回シーサーオープンチャリティーゴルフトーナメント  
(5月例会)  
担当委員会：拡大交流委員会 委員長：鎌田 秀幸

- 2 事業要項  
事業背景

三沢青年会議所と沖縄青年会議所が協力し、三沢・沖縄児童交歓事業を36年継続しております。この事業には相応の運営資金が必要で参加児童の家族の負担を軽減し多くの児童に参加して頂き多くの経験をして頂く為には、このチャリティー事業が必要とされております。

### 目的

対外：三沢・沖縄児童交歓事業への理解を促進する目的とする。  
対内：事業を通じて、メンバー自身の「ひとづくり」の向上を目的とする。

- 3 事業概要

実施期間	5月 予定	事業予算額	¥1,434,000
実施場所	例会：三沢市商工会館3F 事務局 ゴルフトーナメント：米軍三沢基地内ゴッサーメモリアルG.C 表彰式・懇親会：米軍三沢基地内（将校クラブ）		

### 参加員数計画

会員 29名 一般 144名（参加者）

### 事業内容

#### 例会

- ・チャリティーゴルフトーナメント開催の意義の確認
- ・チャリティーゴルフトーナメント実施内容・当日の動き確認

#### チャリティーゴルフトーナメント

- ・チャリティーゴルフトーナメントの開催
- ・表彰式及び懇親会
- ・創立50周年PR

## 事業計画書

- 1 事業名称 めざせ日本JCアワード！増やせ熱い仲間たち！  
伊藤泰尚先輩講演会（3月例会）  
担当委員会：拡大交流委員会 委員長：鎌田 秀幸

- 2 事業要項  
事業背景

今年で創立50周年を迎える三沢青年会議所は、卒業生の数が新入会員の数を上回っており、会員減少がとて深刻な問題となっております。会員減少を危機と捉え2010年度より「会員拡大50・50運動」を展開して参りましたが大きな拡大には繋がっていません。「明るい豊かな社会の実現」に向けて精力的かつ持続的なJC運動を展開していくため会員拡大が急務です。輝かしい歴史や先人の想いを次代へ継承していくため、一人ひとりが会員拡大の意識の向上と目的を理解し早急に会員拡大をする事が必要と考えます。

### 目的

対外：講演会を通し、拡大に成功しているLOMには、今まで以上に拡大への意欲を高めて頂き、更なる拡大運動に繋げる。  
これから会員拡大に力を入れたいと考えているLOMには、意気込みや厳しさを学んで頂き、拡大運動の成功へ繋げる。

対内：講演を通し、会員拡大のご指導を頂き、メンバー一人ひとりが目的を理解し拡大運動意識の向上や目標であった会員拡大50・50運動を達成し、輝かしい歴史や先人の想いを次代へ継承していく。そして熱い仲間を増やし日本JCアワード受賞に繋げる。

- 3 事業概要

実施期間	3月 予定	事業予算額	¥33,900
実施場所	きざん三沢（予定）		

### 参加員数計画

会員 29名 青森県内各地青年会議所メンバー 30名  
講師 1名 花巻青年会議所メンバー 5名

### 事業内容

- ・今年で創立50周年を迎える三沢青年会議所は、理事長の運営基盤3本柱の1つでもある会員拡大に力をいれております。
- ・記念式典には県内外の青年会議所、先輩諸兄に恥ずかしくない姿を見せ、さらには会員拡大50・50運動を達成します。
- ・拡大交流委員会を初めて設け必要な基礎や方法を今一度見直し、今後の拡大運動の基盤を創るため、方法や成功事例、意気込みや厳しさを講演して頂きます。
- ・伊藤先輩には講演だけではなく、その後のアドバイスやアフターケア等年間を通して厳しくご指導頂きます。

# 事業計画書

1 事業名称 会員拡大年間運動計画及び異業種交流会事業

担当委員会：拡大交流委員会

委員長：鎌田 秀幸

2 事業要項

事業背景

三沢青年会議所は創立50周年を迎えます。この記念すべき年をより多くの会員で迎えられるよう会員拡大に努めて参りました。しかし卒業生の数が新入会員の数を上回っており会員減少が続いています。青年会議所運動を次代へ繋げて行くには、会員拡大が最も重要です。年間を通し一人でも多くの青年経済人、シニア会員と触れ合い、共に分かち合える機会を多く設け、会員拡大運動の基盤を創り、三沢青年会議所を次代へ繋げて行かなければならないと考えます。

目的

対外：多種多様な方々との交流により、新たな出会いや企業力向上に繋げる。

対内：シニア会員及び青年経済人と交流を図り、三沢青年会議所の会員拡大運動に繋げる。また、9月の50周年記念式典までに21人の拡大を目標とします。そして日本JCAワード受賞を狙う。

3 事業概要

実施期間	月数回の実行委員会（予定）	事業予算額	¥0
実施場所	三沢市内（予定）		

参加員数計画

第1回異業種交流会

会員 29名 シニア会員及び一般参加 50名

第2回異業種交流会

会員 29名 シニア会員及び一般参加 20名

事業内容

目標 拡大日本一（日本JCAワード受賞）を掲げます。

- ・9月の50周年記念式典までに21名の会員拡大を致します。
- ・年間トータル30名の会員拡大を致します。

主な運動内容

- ・12月 平成25年度 拡大実行委員会始動
- ・1月 拡大運動及び情報収集（目標 5名の新入会員）
- ・2月 拡大運動及び情報収集（目標 5名の新入会員）
- ・3月 伊藤先輩をお迎えしての3月例会
  - ・拡大運動のご指導を頂きます。（目標 3名の新入会員）
- ・4月 拡大運動及び情報収集（目標 4名の新入会員）
- ・5月 拡大運動及び情報収集（目標 4名の新入会員）
- ・6月 第1回異業種交流会（目標 2名の新入会員）
- ・7月 第2回異業種交流会（目標 3名の新入会員）
- ・8月 拡大運動及び情報収集（目標 2名の新入会員）
- ・9月 50周年記念式典
- ・10月～12月 拡大運動及び情報収集（目標 2名の新入会員）

## 事業計画書

1 事業名称 市長懇談会（4月例会）

担当委員会：三役担当

専務理事：千葉 真一

2 事業要項

事業背景

公益社団法人三沢青年会議所が、三沢市の発展のためにまちづくり運動を行ううえで、三沢市との密なる連携が不可欠であると考えます。そのためには、名誉顧問である種市市長に三沢青年会議所の運動をご理解いただき、三沢市との懸け橋となって頂くことが必要であると考えます。

目的

対外：公益社団法人三沢青年会議所の運動を名誉顧問である種市市長に具体的に伝えることで、我々の運動にご理解をいただき三沢市と青年会議所をつなぐ架け橋となって頂く。

対内：名誉顧問である種市市長と交流を図っていただくと共に、公益社団法人三沢青年会議所の事業をPRして頂く。

3 事業概要

実施期間	4月 予定	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢(予定)		

参加員数計画

会員 29名 一般 1名(三沢市長)

事業内容

公益社団法人三沢青年会議所活動報告会

内容

- ・各委員会ごとに事業の紹介をしていただく
- ・パワーポイントなどを活用し、各委員会担当例会や継続事業の紹介を具体的にわかりやすく説明していただく

## 事業計画書

1 事業名称 設立記念例会「還暦・喜寿・米寿・銀婚式・金婚式を祝う会」  
(11月例会)

担当委員会：三役担当

専務理事：千葉 真一

2 事業要項

事業背景

社団法人三沢青年会議所は、1963年(昭和38年)11月17日に社団法人十和田青年会議所のスポンサーのもと、第262番目のLOMとして日本青年会議所より承認され誕生いたしました。これまで先輩諸兄が築いてこられた歴史や当時におこなわれた事業やご活躍を振り返り、感謝すると共に還暦のお祝いをおこない特別会員と正会員との交流が更に深まるよう開催致します。

目的

対外：敬意を表し感謝の気持ちとおもてなしの心で先輩諸兄をお迎えし、シニア会員及び現役メンバーでお祝いすることで、より一層交流が深まることを目的と致します。

対内：公益社団法人三沢青年会議所の歴史や先輩諸兄がこれまでおこなってきた事業を振り返り、学ぶことで今後の三沢青年会議所運動に繋がります。

3 事業概要

実施期間	11月 予定	事業予算額	¥66,300
実施場所	きざん三沢(予定)		

参加員数計画

会員 29名 特別会員 10名 シニアクラブ 20名

事業内容

還暦・喜寿・米寿・銀婚式・金婚式を祝う会

- ・対象となる先輩のプロフィール紹介
  - ・対象となる先輩及び家族の方へ佐々木理事長より花束と記念品の贈呈
- 懇親会
- ・対象となる先輩の紹介
  - ・対象となる先輩から現役当時の写真(パワーポイント)を見て頂きながら、当時の苦労や喜びの体験談等を語って頂く。
  - ・質問時間を設ける

## 事業計画書

- 1 事業名称 公益社団法人三沢青年会議所 歴代理事長座談会（パネルディスカッション）創立50周年決起大会並びに懇親会（9月例会）  
 担当委員会：創立50周年特別室 室長：木村 雅幸

2 事業要項  
 事業背景

社団法人三沢青年会議所は、創立50周年を迎えます。そして、2013年度公益社団法人三沢青年会議所として新たなるスタートの年だと感じております。しかし三沢青年会議所の今の現状は、年々会員減少傾向に陥っており2015年には8名もの卒業生を見送ることとなり、存続さえ危ぶまれる事態と考えます。そこで、先輩諸兄が築いて来られた輝かしい歴史を55周年、60周年と繋ないでいくために、これからの青年会議所運動をどう進めていくべきか。また、会員減少傾向に陥っている現状の打開策などを真剣に議論する場。そして、迎える創立50周年記念事業へ活かされる決起大会という場が必要であります。

目的

対外：シニアクラブ会員に三沢青年会議所の今の現状を把握して頂き、議論する場を設けると共に、現役会員と交流を図り50周年に向けての決起大会という場にするを目的とする。

対内：創立50周年記念事業及び式典を選び良いものとするため先輩諸兄と時間を共有し、貴重なお話を聞ける交流の場とする。そして、これからの青年会議所運動がどうあるべきか深く考えることで意識の向上に繋げることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	9月 予定	事業予算額	¥0
実施場所	きざん三沢（予定）		

参加員数計画

会員 29名 特別会員 75名

事業内容

歴代理事長座談会（パネルディスカッション）  
 ・歴代理事長の皆様に、「市民参加によるまちづくり」をテーマに「無関心」の市民意識をどのように打破し、これから三沢市のまちづくりにどう参画していくべきか。また、会員減少傾向に陥っている現状の打開策など真剣にパネルディスカッション形式で語り合ってください。  
 ・テーマ  
 市民参加によるまちづくり  
 会員減少に陥っている三沢青年会議所の現状  
 懇親会  
 創立50周年記念事業の発表  
 中期未来ビジョンの発表

## 事業計画書

- 1 事業名称 三沢市制施行55周年・公益社団法人三沢青年会議所 50周年記念事業  
 みさわの底力～OMOIYARI溢れる音楽会～  
 及び地域活性化たからいち開催  
 担当委員会：創立50周年特別室 室長：木村 雅幸

2 事業要項  
 事業背景

2011年3月11日に発生した東日本大震災において今もなお、心に深い傷跡を残している人々が数多く存在しているはず。震災発生直後は、日本人がいにしえより繋いで来られた困ったときには、助け合う精神で数々の困難を乗り越えてきました。それは、世界に誇れる日本人の品格や気質だと考えます。しかし、昨今世の中のニュースで伝えられていることは、インターネットによる犯罪やいじめによる自殺といった、人々に宿る人情すら、希薄に感じられる閉塞した悲しい世相となっております。今、本当に地域社会に必要なのは、相互理解を深め多様性を許容する心、すなわち「思いやり」であると考えます。こんな時代だからこそ、我々JCが一筋の光明を見いだすため、希望や思いやりに満ち溢れる運動を展開しなければなりません。

目的

対外：地域の皆様に「OMOIYARIのうた」を発信することで歌詞に込められた思いやりのメッセージを深く感じとって頂き、思いやりについて、もう一度考えて貰うきっかけをつくり、市民意識変革運動の展開を図る。また、代々受け継がれてきた文化や名産、物産を紹介し、たからいち開催により多くの人々の関わりを通じて地域活性化に繋がることを目的と致します。

対内：地域の皆様と共に、思いやりについてもう一度考えるきっかけとなり、市民意識変革団体としての意識向上を図る。また、地域のたからを調査し、それを地域の皆様に伝え、次代へと繋げることを目的と致します。

3 事業概要

実施期間	9月 予定	事業予算額	¥3,000,000
実施場所	青森県立三沢航空科学館（予定）		

参加員数計画

会員 29名 特別会員 75名 一般 100名  
 三沢市内小・中学生 3,963名 米軍基地内小・中学生 50名

事業内容

三沢市制施行55周年・公益社団法人三沢青年会議所 50周年記念事業  
 みさわの底力～OMOIYARI溢れる音楽会～ と題し、ルクブル「陽だまりの歌」でおなじみの藤田恵美さんをお招きしてOMOIYARIのうたを三沢市民及び三沢市近郊の方々で大合唱する。  
 藤田恵美さんを講師にOMOIYARIとは、何かを考える道徳の課外事業とする。  
 地域活性化たからいちと題し、地域のたからを紹介する。